

組み合わせパズルに挑戦しよう (3年課題 その3)

【説明】

- ① A, Bはともに整数である。
- ② A, Bは順不同である。

③ 例題： 「足すと5」、「かけると6」になる2つの整数A, Bの組み合わせを探せ！

解答：ん～、「足すと5」、「かけると6」か～。「かける」の組み合わせから考えると、「(+1)×(+6)」「(+2)×(+3)」「(-1)×(-6)」「(-2)×(-3)」があるな～。
なるほど…、この組合せの中で、「+5」になる組み合わせは、「2と3」だ。
だけど、何で②には、A, Bは順不同でもいいのだろうか？
たし算(加法)とかけ算(乗法)に成り立つ法則があったね！→加法・乗法 法則

④ 問題

	足すと (加法)	かけると (乗法)	A	B		足すと (加法)	かけると (乗法)	A	B
1	+7	+6			21	-9	+8		
2	-5	-14			22	+16	+64		
3	0	-36			23	0	-81		
4	+3	+2			24	+10	+16		
5	+6	+8			25	-1	-42		
6	-2	-8			26	+8	+16		
7	+9	+20			27	-1	-90		
8	-2	-15			28	0	-1		
9	-9	+14			29	0	-81		
10	+2	-48			30	-12	+36		
11	0	-9			31	+18	+60		
12	-11	+10			32	+1	-110		
13	+6	+9			33	-2	-48		
14	+14	+49			34	-7	-18		
15	-4	+4			35	0	-49		
16	0	-4			36	+20	+100		
17	+14	+45			37	+9	-10		
18	+14	+49			38	-1	+72		
19	0	-64			39	0	-121		
20	0	-25			40	-2	-24		

3年 組 番 名前